

「認知症ケアは分かりにくい」「どう対応すればいいか分からない」そんな悩みを解決!

認知症ケアインストラクター養成講座

「認知症ケアインストラクター」とは

認知症高齢者はますます急増するため、介護現場での認知症ケアの知識・技術ニーズは高まる一方です。本講座では、豊富な実技・グループワークなどを交えながら、現場で役立つ介護技術を学びます。

認知症ケアインストラクターとは、尊厳保持・自立支援が求められる介護現場で、認知症ケアの知識・技術を持ってケアを提供できる人材だとNPO法人日本介護福祉教育研修機構が認定する資格です。この資格は、所定の研修コースをすべて終了した者に授与されます。

受講のメリット

- 職場の教育係・指導者 → 認知症ケア技術が総合的・系統的に学ぶため自信を持ってわかりやすく職員・家族に指導できる
- 現場職員 → 現場で使える認知症の方の自立支援を促す環境設定・介助方法がわかる
- 認知症ケアで悩むスタッフ → 現場向けで理論的! わかりやすいので明日からの自分のケアに自信が持てる
- その他 → BPSD への対応がわかる。認知症ケアでリーダーシップがとれる

ほか、多数!

「こんな方法があったのか!」「こう考えればよかったのか!」「セミナーで習ったことを実践したら、即改善しました!」「習ったことを基本に色々自分で役立つアイデアを考えられるようになりました!」「目からうろこのセミナーでした!」受講生の嬉しい感想が続出!

新しく、総合的で、現場に役立つ知識・技術を学びます!

平成28年度予定

- 日程
- I 7月15日(金)~17日(日)
 - II 8月6日(土)~7日(日)
 - III 9月3日(土)~4日(日)

講師 妹尾 弘幸

(株)QOL サービス代表取締役社長、早稲田大学非常勤講師、理学療法士、介護福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士、DCM 上級修了、バリデーションワーカー、認知症ケアインストラクター、ありがとうグループ総施設長

受講料 一括105,000円 (テキスト・資料代込み)

その他 IIIを修了後認定証を発行します。

※認知症ケアインストラクターとして認定されるには、I・II・III各コースの受講が必須です。

定員 各コース40名

会場 ウィリング横浜
(神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1)

今年度は横浜コースのみ!
この機会を逃すと
受講できません!



受講生の声

- ・ 環境設定と介助の仕方についてこう考えれば良かったのかと目からウロコです。 (通所 作業療法士 男性)
- ・ 人間らしさを引き出せるようなケアを学べました。少しでも皆さんの役に立てる介護者になりたいと思います。 (通所 ヘルパー 女性)
- ・ 認知症ケアには想像力を鍛えることが必要だと学びました。また BPSD の原因を突き止めるために様々な面から原因を探ることが大切だということがよくわかりました。 (入所 OT 男性)
- ・ 今まで、わずかな経験値や教科書的知識を活用していましたが、それだけでは全く足りないこと、工夫が必要だということがわかりました。また、自分が実践しているアプローチ法に照らし合わせ、根拠や理由づけなどの間違いが再確認でき、反省する機会になりました。 (通所 理学療法士 女性)

講座内容

I 2016/7/15~17(3日間) 認知症ケアの枠組み

・認知症ケアの総論

1. 認知症ケアの考え方と枠組み
2. ケアの視点

- 1) 尊厳の保持
- 2) 自立支援
- 3) リスクマネジメント
- 4) 他

・認知症ケアの実践

1. 認知症に現れる認知機能の障害
2. 各認知機能の評価
3. 各認知機能障害に対するケア・トレーニング

・BPSD に対するケア

1. BPSD に対するケアの考え方
2. BPSD に対するパセッ理論
3. BPSD のアセスメント
4. BPSD に対するケア



自己遂行しやすい環境設定

II 2016/8/6~7(2日間) 認知症のケア 環境設定と介助技術

・認知症の環境設定の視点

- ・安全 ・安心 ・仲間や役割づくり
- ・自立支援 ・活動を生む
- ・その人らしさを作る ・尊厳を守る

・認知力低下に対するアプローチ

- ・感覚トレーニング ・認識しやすい環境づくり
- ・自己身体認識の低下に対するアプローチ
- ・自己能力認識の低下に対するアプローチ
- ・自己-環境の認識低下に対するアプローチ
- ・自己認識低下に対するアプローチ

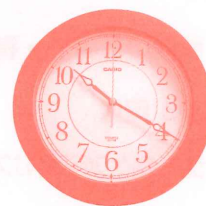
・認知症の介助技術の考え方

1. 手続き記憶を引き出す技術

・各 ADL に対するケア技術

1. 食事
2. 入浴
3. 排泄

各ADLに対する
認知症ならではの
介護技術を学びます



認識しやすい環境

III 2016/9/3~4(2日間) 認知症ケア、ADL、ターミナルケア ほか

・ADL に対するケア技術

1. コミュニケーション
2. 移動
3. 睡眠

・ターミナルケア

1. ターミナルケアの考え方
2. ターミナルケアの質の評価
3. 事例 など

・認知症の方の転倒予防

1. 基本的転倒予防
2. 二重課題 多重課題
3. 転倒予防反射のトレーニング
4. 生態学的アプローチ
5. 転倒予防の環境設定

・各種療法などの紹介 ・ケアプラン



各種療法などの紹介

※日程は変更になる場合がございます。

認知症ケアに対する悩みを **スッキリ解決!**
目からウロコの内容です!

2016年度認知症ケアインストラクター養成講座in横浜 お申し込み書

FAX 084-948-0641

ふりがな			TEL (自宅・勤務先)			FAX (自宅・勤務先)		
氏 名								
住 所 (自宅・勤務先)	〒				携 帯			
					PCメール (必須)			
施設名				職 種			経験年数	
職場種別	デイケア ・ デイサービス ・ 特養 ・ 老健 ・ グループホーム ・ 小規模 ・ 他 ()							

上記個人情報は、本件講座の管理・運営に関してのみ使用します。申し込み受付後、入金案内をお送りします。※実技が多いので動きやすい服装でお越しください。

お問合せ NPO法人日本介護福祉教育研修機構 〒721-0902
日本通所ケア研究会 広島県福山市春日町浦上1205 (株) QOLサービス内
研究会ホームページ <http://www.tsuusho.com/> メール info@tsuusho.com

TEL 084-971-6686
FAX 084-948-0641